# 八千代台補聴器センター

千葉県八千代市八千代台北2-1-16
TEL.047-480-7833　FAX.047-480-7851
http://www.yd-hochoki.jp

対談　代表 河野 慶勝 × インタビュアー ファイティング原田［日本プロボクシング協会会長］

INTERVIEW
YOSHIKATSU KONO × FIGHTING HARADA

# 「あっ、聴こえる！」その笑顔と喜びを。「にっこりカルチャー教室」も好評

**原田**　河野代表はほぼ半生を補聴器と共に歩んでいらっしゃるそうですが、ここまでの道のりについてお聞かせ頂けますか。

**河野**　私は二十代の頃、六年ほど日本電子工学院で電子工学関連の教師をしていました。その中でふと自分の人生に思いを馳せてみたところ、このままの延長で一生が終わるのかと思うと寂しい気持ちになって何か別の道に踏み出したくなり、知り合いの大学の心理学の先生に四年にわたって臨床心理学の教えを受けました。それがとても興味深いものでして、この知識を生かして仕事ができないものかと職を探したところ、新聞で神経内科・体質改造研究所で人材を募集しているのを見付けたわけです。

**原田**　早速、道が開かれたのですね。そこではどのようなことをなさったのですか。

**河野**　東洋医学と西洋医学を併行して行ない、自律神経失調症などを癒す独自の処方を手掛けているところでして、物理療法としても三十種類以上の電気治療器を備えていましたので、主に私はその治療器についての看護師への指導と患者さんへのカウンセリングを行なっていました。しかしその仕事もひと段落つき、今度は銀座の補聴器専門店で技術員を募集していることを知り応募したところ、これもまた運良く採用されることになりました。

**原田**　いよいよ補聴器への道に入られたわけですね。

**河野**　はい。しかしこれまで補聴器に触れたこともなかったので、いざ実物を見るとあまりの小ささに果たして自分にできるのかどうか不安になりまして、すぐさま採用をお断りする電話を掛けました。ところが「まずは一カ月勤めてみて下さい」と言われ補聴器の修理に携わることに。いざ取り組んでみると面白くて興味が湧くようになり、そのうち接客も担当するようになったわけですが、そこで私の運命を決定づけるような出来事に遭遇しました。

**原田**　それは興味深いですね。詳しくお聞かせ願えますか。

**河野**　確か私が三十四歳の時でした。四国で郵便局長をしているという男性が補聴器を作ってほしいとわざわざ銀座のその店にいらっしゃったのですが、よくよく事情を聞いてみると「このまま耳が聞こえにくいままだと職を失うかも知れない」と言うのですね。さすがに私もいつも以上に重大な責任を感じたものですから、聴力や補聴器のデータをこれまでの経験値を踏まえて詳細に分析し、これだというものを作って差し上げたところ、その方から後日「局長の椅子を守ることができました」と涙ぐんでお礼を言って頂いたのですよ。商売冥利に尽きるとはこのことかと思いましたし、同時にこの仕事は技術を駆使するだけのものではなく、人のためになることなのだと感銘を受けまして、ぜひこれを私の天職としてまっとうしようと決意を固めた次第です。

**原田**　代表の真摯な努力があってこそ見事な結果を得られたのでしょうね。その後はどうなさったのですか。

**河野**　その店で扱っていたドイツの補聴器メーカー・シーメンス社が日本で補聴器部門として独立することとなり、その立ち上げメンバーとして加わりました。それからアメリカ・カナダ・スイス・フランス系の日本にある各補聴器メーカーで技術・教育・営業技術部長・店長などを歴任し、七年半前に当店を任され独立することに。

**原田**　様々な経験を積まれたのですね。これまでを振り返っていかがですか。

**河野**　募集広告を見て踏み込んだ道ではありますが、自分なりに信念を持って今や半生を過ごすことになるとは、と感慨深いものがあります。補聴器は専門の技術と共に人それぞれ耳の形や心理的な要因、生活パターンが違うため非常に幅が広くて奥深いものなので、そういった意味でも探究心をそそられます。接客を通して耳が聞こえにくいことから寂しい思いをしていらっしゃるという心理的な状況も分かり、人として大切な仕事なのだという確信を更に深めました。お客様は七十代を中心に私より人生の先輩が多いので、敬いながら一期一会の出会いを大切に、「あっ、聴こえる！」その笑顔と喜びを励みに日々取り組んでいます。

**原田**　とても素晴らしいお仕事だと思います。最後に将来への抱負をひと言。

**河野**　昔に比べてデジタル補聴器の性能は格段に良くなっていますが、微妙な調整はやはり手作業が必要ですので、これまでの四、〇〇〇人以上の症例と経験を踏まえて喜ばれる仕事に徹したいですね。また、ボランティアで行なっている手話や押し花、俳句などの「にっこりカルチャー教室」も数年になり地元の方々にも好評で、皆様に愛され親しまれる道を歩んでいきたいです。

**原田**　困っていらっしゃる方の良き味方として更なるご活躍を。

①INFORMATION

吉野治美主任の聴力検査を受ける原田氏